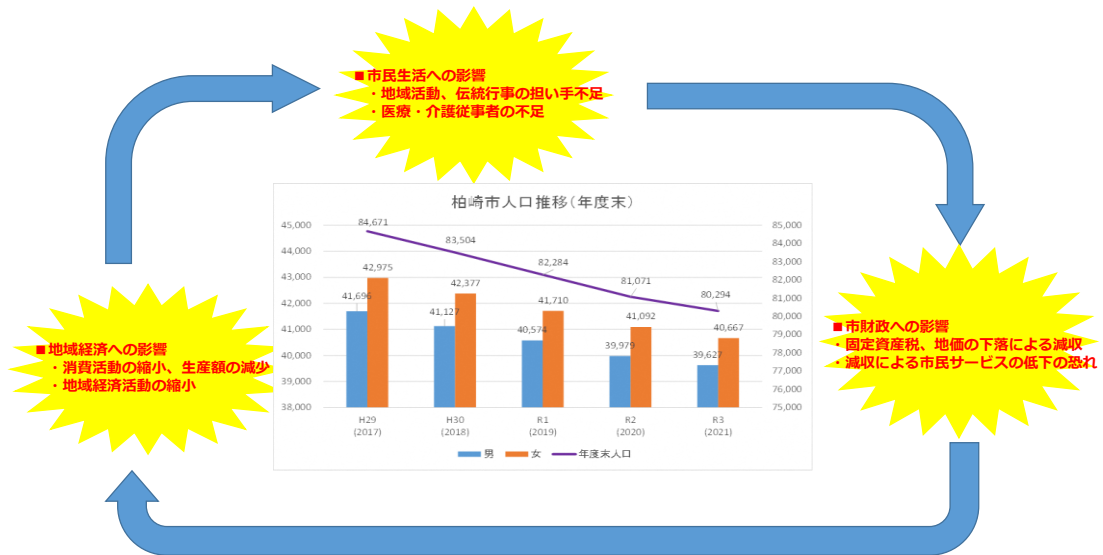


3 人口減少が及ぼす影響

本市の人口減少は残念ながら避けられないのが現実です。第2期総合戦略では、人口減少が及ぼす影響として主に次の3つを挙げています。

人口減少は、様々な面で影響を及ぼし、人口減少を加速化させる悪循環となります。



4 目指す姿

「定住人口の増加」は地方全体の課題ですが、この状況の中で、本市の人口を増加させることは難しいのが現実であり、第五次総合計画後期基本計画では、令和7(2025)年度末の人口目標を76,000人以上としています。このことを踏まえ、第二次行動計画での本市の目指す姿を次のとおりとし、様々な移住・定住施策に取り組みます。

一人でも多くの方が柏崎に定住することで人口減少の流れを緩やかにする

5 ターゲットと重点エリア

(1) ターゲット

<p>メインターゲット 20歳～34歳</p> <p>本市の産業、経済活動などを支えている世代であり、新たな柏崎を創り出すことが期待できる世代です。子育て世代でもあることから、この世代の暮らしを充実させることが子供たちの将来の定住に繋がります。</p>	<p>プレターゲット 18歳・19歳</p> <p>第二次行動計画期間中にメインターゲットとなることや、市外へ進学した同級生がリターンする際には心強い存在になることも踏まえ、プレターゲットとして市内企業等への就職、その後の定住を促進します。</p>	<p>将来ターゲット 小学生・中学生</p> <p>成長した若者が「柏崎に住みたい。」「柏崎で頑張りたい。」と思える雇用の創出、まちづくりに取り組みます。</p>
---	---	--

(2) 重点エリア

<p>重点エリア 首都圏</p> <p>第一次行動計画と同様に、本市や新潟県からの転入者が多く、若者の集中が著しい首都圏を第二次行動計画においても重点エリアとします。</p>	<p>市内</p> <p>定住を促進するためには、市民の暮らしを充実させることが重要なことから市内も重点エリアとします。</p>
---	---